



中東遠総合医療センター 企業団組合の臨時議会にて

医師の逮捕・起訴を受けた対応説明を求め

て企業団組合議会の開催を求めたのが8月末。

やっと10月26日に開催されました。

その間あった10周年の記念行事でもこの問題に触れられることはありませんでした。今回、8月末に外来診察室の運用基準を見直し、夜間の診察や、患者と二人きりになる場面を作らないといった変更をしたこと、患者側からの怒りや不信感の訴えが多く寄せられたが、ていねいな説明、診察に努め現時点では落ち着きを取り戻しているとの説明がありました。



裏返せばそれまではそういう診察室の使用状況が容認されていたという事です。病院の幹部会議のみで問題処理し続けていることに、これで公立病院なのか？という疑問が膨らみます。

小児科という患者側の声が拾いにくいところでの事件です。病院の責任が問われ、市民の病院への信頼を失墜しかねない事件であるだけに責任ある迅速な説明を掛川・袋井両市の議会や市民にするべきではないのかと思います。

現在中東遠は67億円かけて救急センター、集中治療室、人間ドックなどの部署を約5年で改修増設する予定で設計に入っています。

独立採算とは言え、掛川・袋井両市から年間17億円余内掛川市約10億円余の財政負担の上運営する公立病院です。新規投資について事前に市や市民の合意形成が丁寧にされなくていいのか私は疑問です。

敷地内薬局のインホールディングス子会社は、本社のある札幌で、敷地内薬局の入札を巡る不正で社長が逮捕されました。中東遠では不正はないと断言しましたが、契約関係など十分な説明をしてほしいと私は思います。公立病院が地元企業でもない民間大企業を優遇することになる敷地内薬局で本当にいいのかも未だ疑問です。

入院期間の短縮で診療報酬をあげ経営を安定させているという報告でしたが、私のまわりで退院後すぐ緊急再入院している方が続き、入院と同時に退院の調整が始まるこの病院が私は今とても不安です。



10月全員協議会報告(続き)

地域公共交通計画の

パブリックコメント

「多極ネットワーク型コンパクトシティ構想」。現在の公共交通網整備の考え方です。いろいろな機能は市内中心部に集中させ、いくつかの拠点と中心をバスなどの公共交通で結んだ上、それぞれの圏域は地域内移動を保障するという考えです。圏域内は地域のまち協などに任せ、路線バスで病院、商業施設、市役所などを結ぶ。本数が少なくバス停も遠いバスは実験で無料化しても利用は伸びませんでした。周辺部では高齢者が免許返納しようにも生活できないからと車を手放せない実態があります。「地域任せでなく、行政責任でくまなくコミュニティバスなどを走らせて」という声は以前から上がっています。電車やバスには公の補助が入って赤字補填がされますが、その割には本当の足にはなり得ていないのだと思います。

11月末までパブリックコメント募集中です。ホームページから策定中の計画がご覧になれます。ご意見をお寄せ下さい。



サンサンファームの

撤退と民間公募

海岸線ビジョンとして重要な施設として位置づけられているにもかかわらず、地元の委託会社が解散して現在休業中の大須賀のサンサンファーム。サトウキビから黒砂糖のよこすかしろを作る工場も入っています。

南部は人口減が激しく、地区集会に出ると、どこも地域を盛り上げようと必死です。民間でうまくいかないなら公が責任持って地域を支えるべきだと思います。



ホトトギス

ガザの無差別殺戮を止めろ!

1万に及ぶ死者のうち半数近くが子ども。学校・病院・救急車...

どんな理由をつけても許されない蛮行なのに、アメリカはイスラエルを擁護し、日本は非難決議にさえ背を向ける。

戦争NO!!

